



栄光の未来

R5.5.21
第4号

衣替えでも「自主・自律」「主体性」を磨く

5月も下旬になり、初夏を感じさせる日も見られるようになってきました。そこで、東石山中では明日から衣替えの移行期間に入り、6月12日（月）からは基本的に夏服に切り替わります。

衣替えを実施する学校の多くが、服装を切り替える日を「衣替え完全実施日」として設定しています。しかし、東石山中ではこの日を「衣替え基準日」としました。似ているようでありますが、そこに込めている意味は違っています。

なぜ衣替えを行うのか、これに対する意識がないまま単に切り替えの日付だけを決めて衣替えを行うことに、意味はありません。季節が変化するタイミングや気温などの状況は、年によって、また日によっても違います。ある一日を境に必ず暑くなるといったものでもありません。また、その日の体調によっても、暑く感じたり寒く感じたりすることはよくあることです。このような状況が考えられる中で、毎年のこととして「衣替え完全実施日」を設定して服装を完全に切り替えることに、どれだけの意味があるのでしょうか。

今年度の衣替えに、次の「ねらい」を設定しました。

- これから夏季を迎えるにあたり、季節や気温に応じた健康に過ごせる服装について生徒が理解し、適切に対応できるようにする。
- 服装を切り替える節目で、生徒が制服等の着こなしを振り返り、身だしなみを自身で整えることができるようにする。

ここでのキーワードは「適切に対応できる」「身だしなみを自身で整える」ということです。その時々に応じた服装を決めるのは、他の誰でもない、自分自身であるはずです。気温や天候、季節等を考えながら、その場や状況に適した服装を考え、責任をもって決定して適切に着こなすことのできる力を身に付けることは、「自主・自律」の力や「主体性」を身に付けることにもつながります。

**6/3(土)実施
PTA環境整備活動**

生徒会からの力強い呼びかけ！

昨年度までは、部活顧問などからの呼びかけで参加していた生徒が多かったようですが、今年度はちょっと違います。昼の生徒会アワーで生徒会本部から全校生徒へ力強い呼びかけがありました。

自分たちの学習・生活環境は、保護者や地域など大勢の大人によって整えてもらっている現状があります。これに対して、「ありがとう」の感謝の言葉だけでなく、自分たちも参加し共に行動しようと呼びかける生徒会の姿勢は、本当に素晴らしいですね。

しかも、三本柱の「掃除」と結び付けてこの活動を推進しようとする姿勢や、大勢の生徒の参加によって「自分たちの手で自分たちの学校を創る」ことを目指そうとしていることに、頼もしさを感じました。

生徒会活動の充実を予感させる生徒会アワーでした。



大勢の生徒が既に夏服に切り替えて学習・生活に取り組んでいます。

あいさつ・返事・掃除！
私たちは、日常活動に精一杯取り組みます！東石山中学校

三本柱が、生徒の意識の中にしっかりと刻み込まれています！